

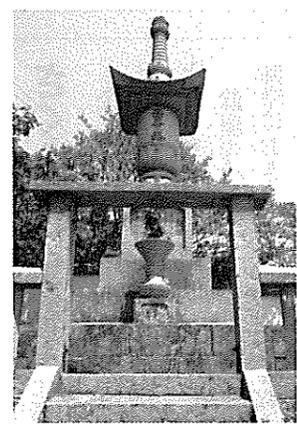
積善

題字 第241世天台座主 玄深師(惠亮院藏)

餘慶寺だより

編集・発行 上寺山餘慶寺
〒701-4232 岡山県瀬戸内市邑久町北島 1187
納経所 TEL 086-942-0186 FAX 086-942-0187
惠亮院 TEL 086-942-3788 FAX 086-942-5422
本乘院 TEL 086-942-2791 FAX 086-239-5823
吉祥院 TEL 086-942-3789
定光院 TEL 086-942-2356 FAX 086-944-1490
明王院 TEL 086-943-1030 FAX 086-943-1069
圓乘院 TEL 086-942-2356
ホームページアドレス <http://www.yokeiji.com/>

写経会 7月1日(月)～3日(水)



書くことのよこび 生きるいのちのよこび

餘慶寺では、例年七月に「写経会」をおこなっています。詳しくは、如法経会というお勤めのあと、皆様と一緒に写経をおこなう仏教行事です。

如法経会は、上寺山餘慶寺(前身の日待山本覚寺)にもゆかりの深い慈覚大師円仁様(第三世天台座主)が比叡山でおこなったのに始まるとされ、決まり通り(如法に)経典を書き写して、供養する法会のことです。書き写すお経(写経)は、餘慶寺では今年より観音経の世尊偈と般若心経です。

本年も、七月一日から三日の三日間、早朝五時よりお勤め(如法経会)が始まります。

お勤め後に皆様で写経をし、山内僧侶による法話ののち、餘慶寺会館へ静かに移動して、朝粥のお接待をいただきます。全ての行事は午前6時半に終了予定です。

すがすがしい朝のひとときの中、一文字一文字に心をこめてつづる写経会に参加されて、書くことのよこび、生きることのよこびを体感されてはいかがでしょうか。

なお、参加には事前の申込み(志納金三千円)が必要です。お問合せは餘慶寺(電話086-942-0186)まで。

餘慶寺 夏の行事

- 山家会 (さんげえ)**
六月三日(月) 十六時・四日(火) 八時 本堂
日本天台宗の開祖伝教大師最澄さまの命日法要です。前夜の法要を併せ伝教大師和讃をお唱えします。
- 写経会 (しやきょうえ)**
七月一日(月)～三日(水) 五時 本堂
早朝のさわやかな空気の中、心を落ち着けて写経をしましょう。毎日、法話があります。また期間中の日中も写経がいただけるよう用意をしております。
六月二十五日(火)までに各院または納経所へ志納金三千円を添えてお申し込みください。
- 愛宕会 (あたごえ)**
七月二十三日(火) 愛宕社
愛宕社に火難を防ぐ神様として祀られる將軍地蔵のお祭りです。当日は年一回のご開扉があります。
- 初盆供養会 (はつぼんくようえ)**
八月十五日(木) 本堂
亡くなられてから最初に迎えるお盆を初盆といひ、ねんごころに供養するものです。餘慶寺では本堂にて初盆供養会をおこなっています。今年初盆を迎えられる方へはご案内をお送りします。
- 水祭り・施餓鬼会 (せがきえ)**
八月二十五日(土) 十七時 本堂
万灯会 十九時
- 夏を締めくくる(先祖様を供養する法要です。お墓にある古い塔婆をお持ちいただければ餘慶寺でお焚き上げをいたします。お接待も用意しております。)
- よけいじ寺子屋** 餘慶寺会館
六月十六日(日) 十四時
初心者向け仏像解説 明王院住職 中尾淑海師
六月三十日(日) 十四時
里山の珍味(食べられる実) 里山研究家 山口史郎先生
七月六日(土) 十四時
初心者向け仏像解説(餘慶寺の仏さま) 明王院住職 中尾淑海師
七月二十一日(日) 十四時
備前焼の中の白備前 備前焼作家 木村玉舟先生
聴講無料です。(自由に)参加下さい。

毎月十八日は観音縁日。午前八時より本堂にて観音経誦法要を行います。

十三仏について(釈迦如来)

釈迦如来(二七日)
亡くなった方を二七日に導いて下さるのは釈迦如来です。「お釈迦さま」と呼ばれて親しまれています。天台宗のご本尊さまです。

お釈迦さまは、今から二千五百年ほど前に、北インドのカピラ国のシャカ族の王子さまとしてお生まれになりました。

今でも四月八日にはお釈迦さまのご誕生をお祝いする花まつりが催され、生まれたときのお姿のお釈迦さまに甘茶をかけてお参りをします。

王子として何不自由のない生活をしていたお釈迦さまは避けることができない「生まれること」「年老いていくこと」「病気になること」「死ぬこと」などの人生の苦しみについて深く悩んでいました。

ついに二十九歳のときに家を出て修行生活をされますが、苦行では心のやすらぎが得られない事に気づかれ、菩提樹の下で安らかに座禅を組み、ついに仏としての悟りを得られました。

その後、多くの人々の苦しみを救うために四十年以上の長い間、教えを説く旅に出ました。

初七日にお不動さまに正しい心を持つように教えていただいた人々は、その後の二七日には、お釈迦さまに仏となる教えを説いていただき中陰の道のりを進んでいくのです。



古いお塔婆をお焚き上げします。八月になりましたら本堂へお持ち下さい。

夏休み子ども体験道場

へご参加下さい

今年夏休みには、上寺で一日二日の体験修行をしませんか。とは言っても厳しいだけ修行ではありません。楽しみながら心をみがく修行です。そのため、中国観音霊場会青年部の僧侶が中心となり、お子さまの成長のお手伝いをいたします。参加希望の方は、事前に申込みが必要です。詳しくは餘慶寺にお問合せ下さい。

日時 平成二十五年 八月二十二日(木)～二十三日(金)



中国観音霊場会 百八観音霊場の開創

中国観音霊場会では、このたび四国と九州の観音霊場会と観音信仰の輪を結び、百八観音霊場として霊場開きをいたしました。

過ぐる四月十八日には西大寺観音院にて開創法要が執り行われました。

ご参拝の際には、現在の中国観音霊場第二番札所に変わりはありませんが、百八観音霊場としてお詣りされる方には第三番札所として納経帳に金印を押印させていただきます。

納経料 五〇〇円(中国観音霊場の納経御朱印に百八観音の金印を押印します)



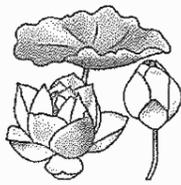
編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がありますが、今年はなかなか寒さが降りません。北海道ではゴールデンウィークに雪が積もった地域もあったようです。気候が年々変化しているようにも思われますので、体調管理はしっかりとしていきたいものです。

春のお彼岸に植え替えをした餘慶寺境内の蓮・スイレンも少しずつ葉が出てきました。夏には美しい花で境内を彩ってほしいです。どうぞ、餘慶寺へお詣りください。

餘慶寺のハス・スイレンの見頃について

餘慶寺の写経会が行われる頃、本堂前や境内にあるハスの花が見頃を迎えます。ハスは午前中のみ花開きますので、早朝の写経会に参加される方には、たいそうおかげがいただけたと喜ばれています。



餘慶寺は中国観音霊場第二番札所であるとともに、山陽花の寺霊場の第十六番札所でもあります。ハスは、サクラとハスです。六月～七月には美しいハスの花が境内を彩ります。

また今年の四月十八日に開創された百八観音霊場は、前記の中国観音霊場と九州観音霊場、四国観音霊場の三つの観音霊場が手と手を結び合って出来たものですが、その百八のお寺にそれぞれ花をあしらった花御影をお渡しすることになっていきます。第三番札所であるこちら餘慶寺では、スイレンがシンボルフラワーであります。弁天池や境内のあちこちの水鉢からは五月より初秋まで、目を楽しませてくれます。是非ともお参りの際には、少し心や体をくつろがせて、仏さまやお花に向き合ってくださいと願っております。

毎月八日は薬師縁日。午前十時より薬師堂にて護摩祈願法要を行います。

さくら祭り報告

今年のさくらは早咲きになったにもかかわらず、四月上旬いっぱい咲き誇り、多くの方々が花見を満喫されたと思われまふ。

餘慶寺ではさくら祭りの開催を控えた三月三十日、薬師堂におきまして、備前焼作家木村玉舟さんへの感謝状授与式が行われました。木村さんには、昨春秋に白備前の薬師観音尊像をご奉納いただき、開眼、お祀りしていただき、そのお披露目も兼ねた式典でありました。

木村さんは、由緒ある名家のお生まれで、さらにその伝統を忠実に受け継がれ、かつ発展せられ、一芸に秀でておいでです。ご縁あつて今回のご奉納の話となりまして、祭るところ、木村さんの技と心の境地を神仏が見込まれ、お導きのままに、薬師観音尊像が形づくられたのでありましよう。今後は餘慶寺の宝物の一つに加えられ、幾世にもわたって守り継いでいく所存です。

なお、尊像は薬師堂内にお祀りしていただきますので、毎月八日の薬師縁日護摩法要（八月を除く十時より）や特別行事の際には堂内へお詣りできます。

また、木村氏にはこの度「よけいじ寺子屋」で白備前にまつわるお話をさせていただくことになりました。どうぞご参加下さい。

日時：七月二十一日（日）十四時
場所：餘慶寺会館2F講堂



よけいじ寺子屋のご案内

三月より餘慶寺会館において「よけいじ寺子屋」を行っています。聴講無料ですので、お気軽にご参加下さい。仏教講座では餘慶寺各院の僧侶が交替でお話をさせていたいただきます。五月で「般若心経」のシリーズ講座が終わり、六・七月には仏像についての初心者向け講座が始まります。

一方、文化講座ではその道に秀でた方をお願いしてお話をさせていただきます。三月と五月は岩本俊男さん（重森三玲の最後の弟子）に石組みや空間についてお話をいただきました。また四月は山口史郎さん（上寺の森を育てる会顧問）に樹木の名前の由来についてお話をさせていただきました。

そして六月には里山の恵みとして食べられる実についてのお話があります。よけいじ寺子屋の今後の予定は餘慶寺会館やその周辺に掲示しますので、日程をご確認のうえ、ご自由にご参加下さい。



上寺の森を育てる会

ぼくたち・わたしたちにもとれるかな!?

カブトムシ・クワガタムシ 観察会

例年ご好評をいただいています自然のカブトムシ・クワガタムシと出会い、観察する会を、今年も計画しました。

当日は朝早いので、遅れないようにして下さい。持ち帰り用の虫カゴや、汗ふきタオル、うちわなどは各々でご用意下さい。



日時 平成二十五年 七月二十一日（日）

集合場所 上寺山頂の作業小屋（駐車場向かい）

※かならず大人の人（保護者）と一緒に来て下さい。服装は、山を歩くので長そで長ズボン、長ぐつでお願いします。

※問い合わせは上寺山恵亮院（☎086-942-3788）まで。

里山の保全活動でお手伝い下さる方を募集いたします。

上寺の森を育てる会では、無事故・防犯・景観の面より、環境整備や維持管理を心掛けておりますが、人手不足のために十分な活動が出来ておりません。そこで里山の保全に興味のある方を募集いたします。

- ① 樹木や山野草、生き物に対する調査や保全活動をして下さる方。観察会や講座の開講も計画していきます。
- ② 草刈り機や除草剤による遊歩道周辺の維持管理。人工ゴミなど不法投棄物の監視回収をして下さる方。
- ③ チェンソーを用いた森林整備。風倒木などの自然災害時の除伐、計画的な間伐をして下さる方。のいずれかです。基本的に無報酬でお願いすることになります。特典といたしましては、山菜・山の幸や資材などの提供、他の里山グループとの交流や技術養成講座へのご案内などがあります。

納経所でお手伝い下さる方を募集いたします。

日曜、祝日やお寺で特別な行事がある時に、納経所（餘慶寺会館）に来て下さる方を数名募集いたします。年齢不問です。時間帯は午前八時～午後五時で、仕事内容は、納経受付、参拝者の対応、電話受付、お守りなどの授与などです。

ひとくち法話

「ことば」

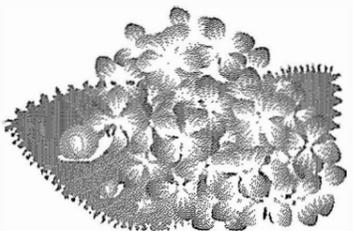
桜の季節から新緑の季節になり、新しい仲間や友達にも慣れてきましたか？

私たちが自分の思いを伝えるのに必要なものの一つに「ことば」があります。常日頃から丁寧な言葉遣いを心がけているつもりでも、時として相手を傷つけているときがあります。昔、師匠に諭されました。

「あなたの言葉は時々「言刃」になっています。ナイフのような刃物の怪我なら、病院で薬をつけたら治りますが、言刃で傷つけた心につける薬はありません。傷は、永遠に残りますよ」と。



電話や手紙以外に最近では、メールやツイッターなど言葉の発信が盛んになりました。言葉なしでは生活できない今だからこそ、丁寧な言葉遣いを心がけたいものです。



毎月第二日曜日 午後二時より阿弥陀堂にて納骨堂説明会